

# 板倉町 校務DX計画

---

## 1 校務DXの現状と課題

令和6年度「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果によると、板倉町の現状は、群馬県全体の平均を上回っています。

校内での情報共有のデジタル化は、校務支援システムなどで全校においてデジタル共有されていますが、一方で資料共有のデジタル化については、3割程度にとどまっており、改善の余地があります。また、保護者間の連絡のデジタル化においては、メール配信システムなどを導入していますが、十分な活用がされていないなどの課題があります。

FAXの原則廃止については、7割ほど進められていますが、押印の原則廃止については、一部の業務で進んでいるものの、依然として押印が根強く残っています。

## 2 校務DXの課題解決、次世代の校務デジタル化

令和7年度より、県域共同調達で学校デジタル基盤（校務支援システムと汎用クラウドツール）の導入が検討されています。板倉町では令和9年度の参画に向けて検討を行う予定です。県域のデジタル基盤に参画することで、校内、学校と保護者間、学校と児童生徒間のデジタル化の基盤が整備されるとともに、県域で活用事例や先進事例が共有されます。板倉町でもそれらを取り入れ、教員の多忙化解消等に資するためのデジタル活用を積極的に進めたいと考えています。

また、校務の効率化・ペーパーレス化の阻害要因であるFAXや押印の見直しを進めるとともに、セキュリティポリシーの改正や、要録の電子保管等の課題についても、県域の事例を参考として検討を深めていきます。